



どうだんつつじ



第1号

令和2年4月8日

統合時の初心を忘れずに

校長 氏橋 俊司

千代川河畔の桜が満開となり、新たな気持ちで令和2年度が始まりました。智頭小学校校舎にも久しぶりに元気な子どもたちの声が響き、希望に胸が膨らみます。この度の教職員人事異動により、歴史と伝統に包まれた智頭小学校に新しく4名の者が赴任することとなりました。地域や保護者の皆様には、これからたいへんお世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。そして本校は、今年度9年目を迎え、47名の新入生を含め、281名の児童と42名の教職員でスタートしました。

しかしながら、3月より新型コロナウイルス感染症の影響で国内の各施設行事やイベント等がやむなく自粛や中止の流れとなり、拡大防止のため全国の学校が一斉臨時休校となるなど、これまで経験したことのない状況が続く中での今回の学校再開となっています。子どもたちの心や体の状態を十分に把握しながら感染防止に努め学校行事等を進めていきますので、各ご家庭においても日々の体温チェックなどの健康観察に気を配っていただき、安全・安心な生活が送れるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校は平成24年4月に6つの小学校が統合した後、はや8年が経過しました。当時、幸いにも新統合小学校づくりに関わることができた私は、各地区の皆様の統合へ向けての熱い思いや願いに何度もふれ、夢や希望を共に語り合ったことを思い出します。小学校関係者の方々と一年間の話し合いを重ね、創り上げたのが、以下の学校教育目標でした。

夢に向かって のびる 杉っ子

「夢、のびる、杉っ子」いずれも何気ない言葉ですが、この言葉の奥には、未来に向けての強い意志が詰まっています。さらにその後、具体的な目指す「杉っ子」の姿として、

【す】すすんで学ぶ（確かな学力） 【ぎ(き)】きょうどを愛する（高い自己有用感）

【つ】つよい心と体をつくる（健やかな体） 【こ】こころを磨く（豊かな心）

を取り上げ、子どもたちの健全育成を図ってきました。

令和2年度は、教育目標にサブテーマを設けました。『わくわく登校 生き生き学習 笑顔でつながる学校づくり』です。毎朝、元気なあいさつとともに一日がスタートし、友達と切磋琢磨しながら主体的に学習に取り組み、達成感や満足感が得られる学校生活。統合当時の熱い思いや願いを引き継ぎながら、学校づくりを進めていきます。一方、現在全国の学校で行われている「働き方改革」についても、各種行事の見直しや効果的、効率的な仕組みづくりを大胆に進め、教職員が日々笑顔で子どもたちに対応できる時間を確保していく予定です。そして、安全・安心で生き生きとした学校づくりに本校スタッフ、総力挙げて努めてまいります。

「夢に向かって のびる 杉っ子」を皆様とご一緒に、チームCHIZU（智頭）の力で育んでいきたいと考えます。今後とも学校教育へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。